

1号機燃料取り出しに向けた工事の進捗について

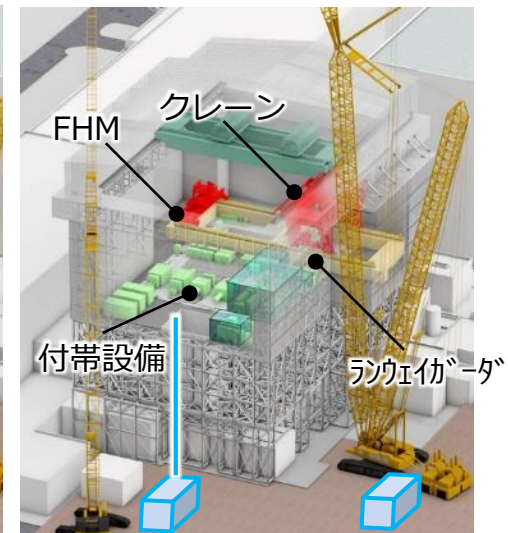
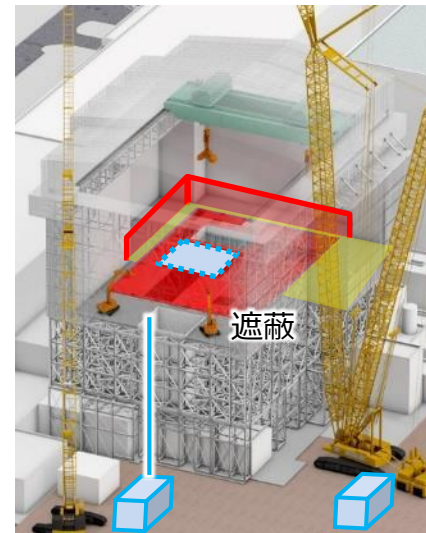
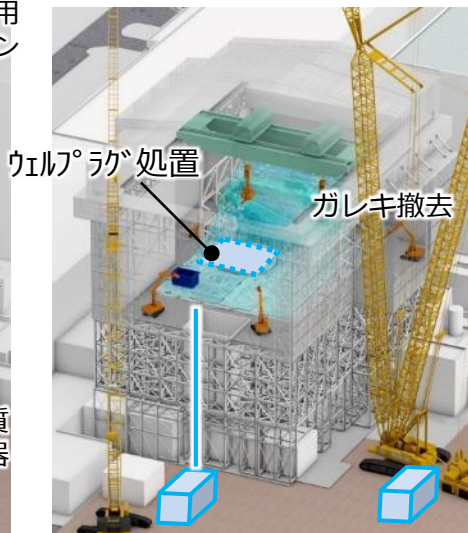
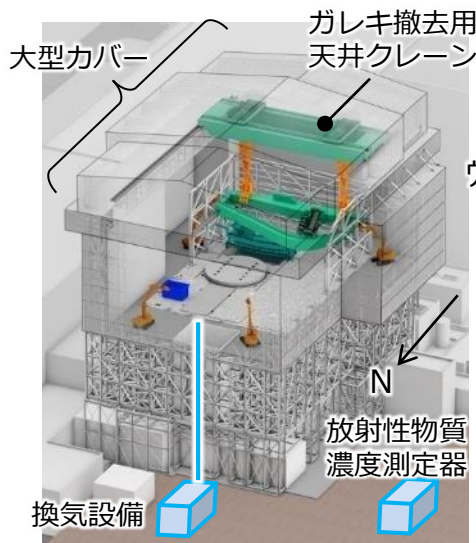
2024年12月26日

TEPCO

東京電力ホールディングス株式会社

1. 燃料取り出し計画の概要

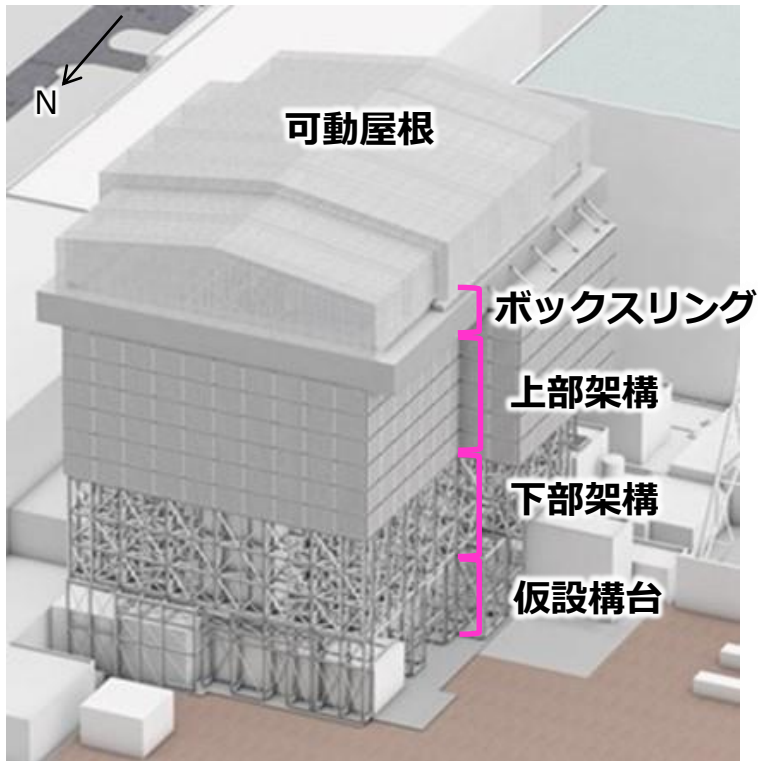
- 1号機使用済燃料プールには392体の燃料が保管されており、より安定して冷却、保管可能な共用プールに搬出することを目的に、燃料取り出しを実施する。
- 燃料取り出しに先立ち、原子炉建屋を覆う大型カバーを設置し、大型カバー内でガレキ撤去、オペレーティングフロアの除染・遮蔽を実施し、燃料取扱設備（燃料取扱機、クレーン）を設置する。



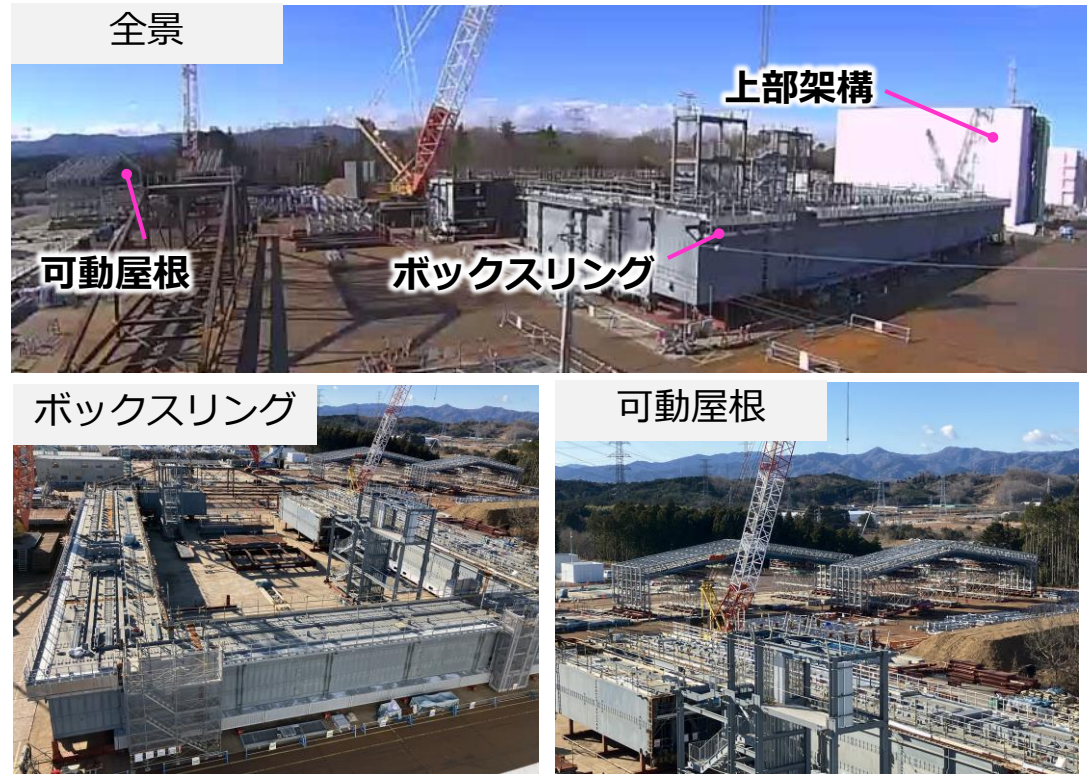
※イメージ図につき実際と異なる部分がある場合がある

2-1. 大型カバー設置の状況（構外）

- 仮設構台，下部架構，上部架構，ボックスリングの地組が完了。
- 可動屋根の地組を実施中。（1/8ブロック完了）



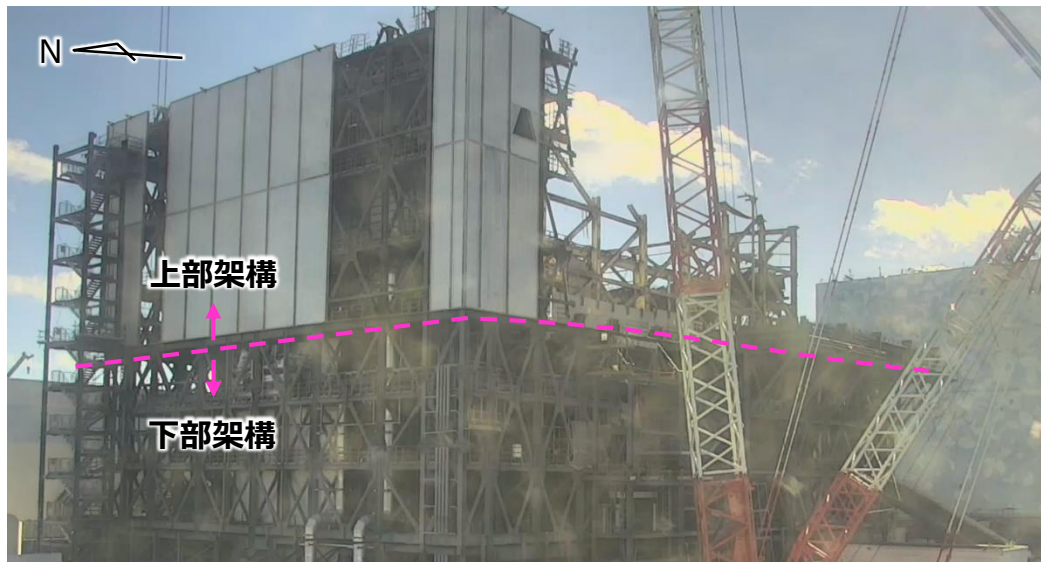
大型カバー全体の概要図



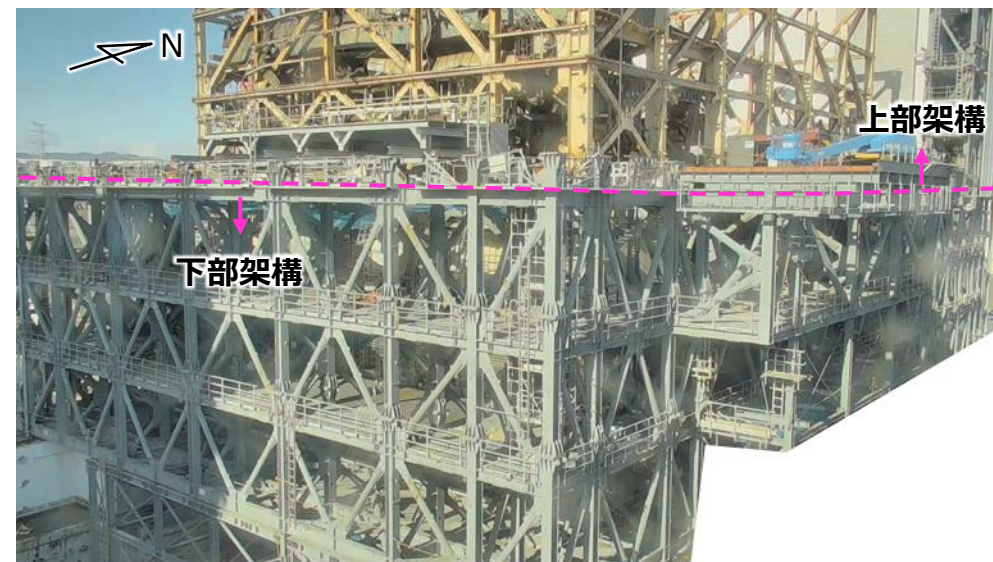
構外ヤードの状況（撮影：12月24日）

2-2. 大型カバー設置の状況（構内）

- 下部架構は11月4日に設置完了。
- 11月15日から上部架構の設置を開始。（3/12ブロック完了）
- 飛散防止剤の定期散布はオペフロの上面・側面から実施しているが、上部架構の設置進捗に伴い、可能な範囲で飛散散布剤の散布を継続。



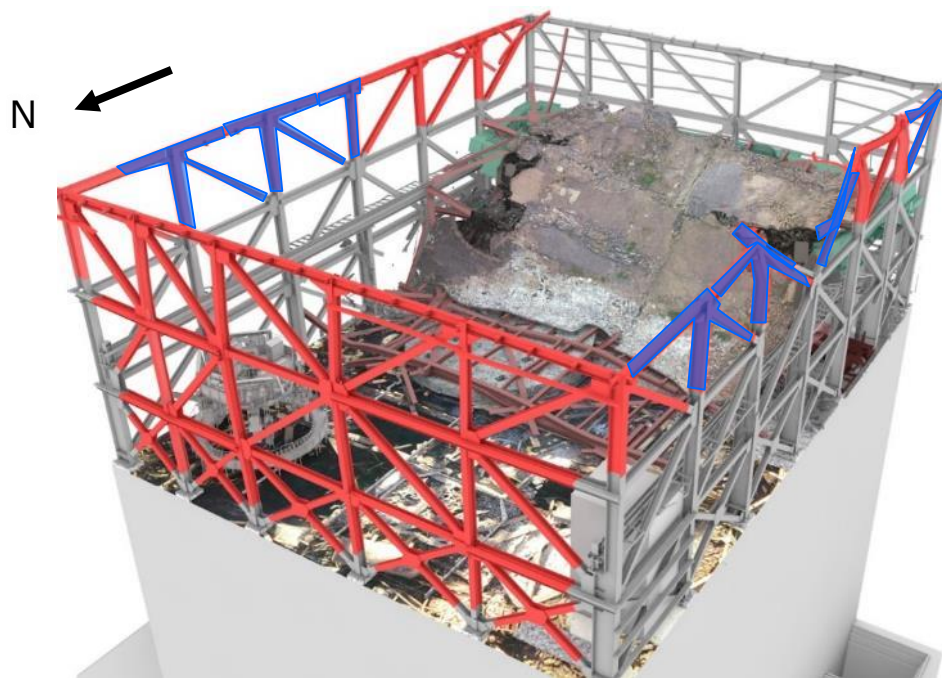
現場状況（北西面）
（撮影：12月24日）



現場状況（南東面）
（撮影：12月24日）

3. 外周鉄骨撤去の状況

- 10月29日から外周鉄骨の撤去を開始。
- 外周鉄骨撤去の進捗状況を示す。(12月24日現在)



■ 撤去予定範囲

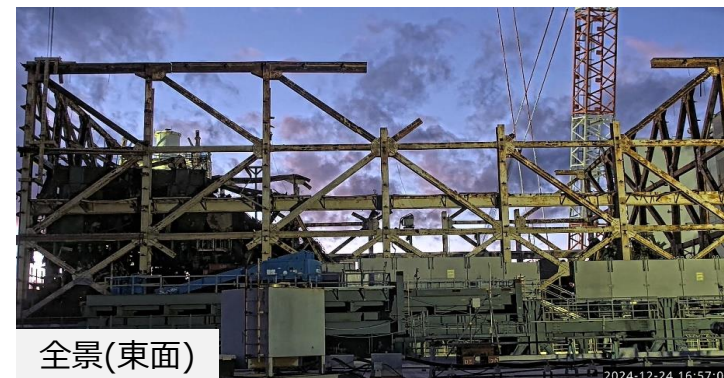
■ 撤去済

※作業計画により撤去範囲は変更となる場合がある



全景(西面)

撮影：12月16日



全景(東面)

撮影：12月24日



撤去中

撮影：12月24日

■ 撤去部材

4. ダストモニタ改造の進捗状況

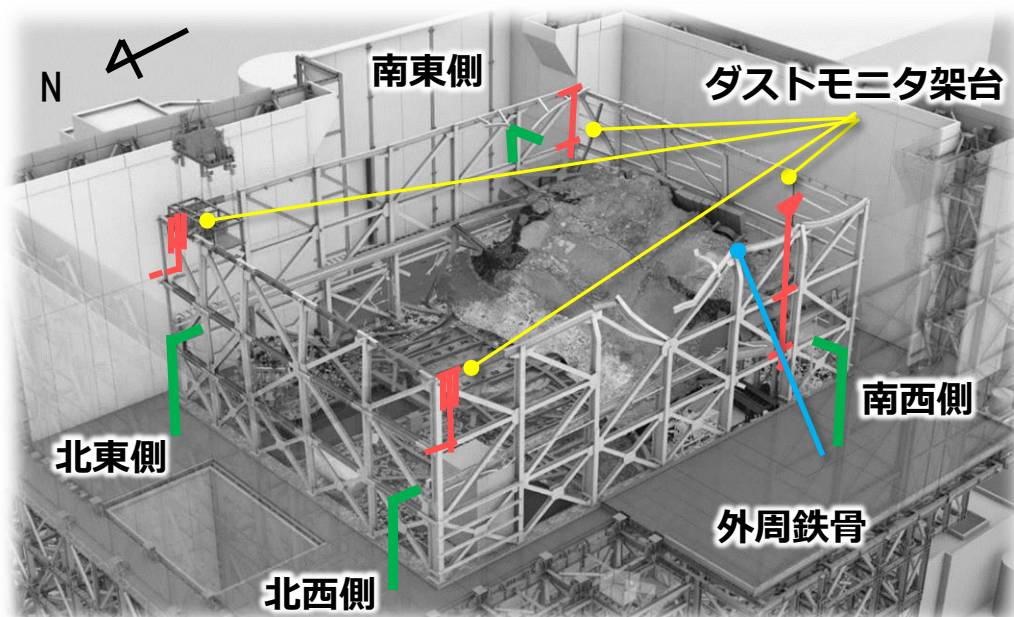
- 1号機原子炉建屋の外周鉄骨の撤去に伴い、オペフロ上の放射性ダストの飛散状況を監視するモニタ架台が干渉することから、ダストモニタ架台の改造を実施中。
- 北側2基（北東，北西）のダストモニタの改造が2024年11月に完了。
- 南側2基（南東，南西）のダストモニタ架台製作中（2025年2月頃に設置予定）。

北東側改造
(1/4基完了)

北西側改造
(2/4基完了)

南西側改造

南東側改造



ダストモニタ改造の全体概要図

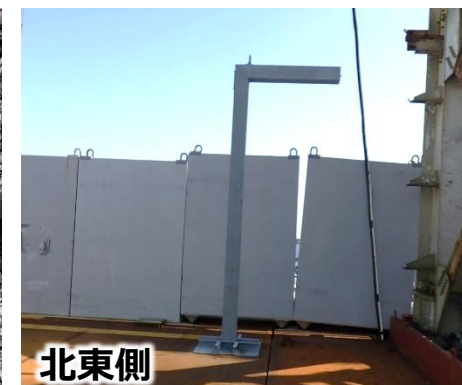
<凡例>

— : 改造前

— : 改造後



ダストモニタ改造北側（撮影：2024年11月14日）



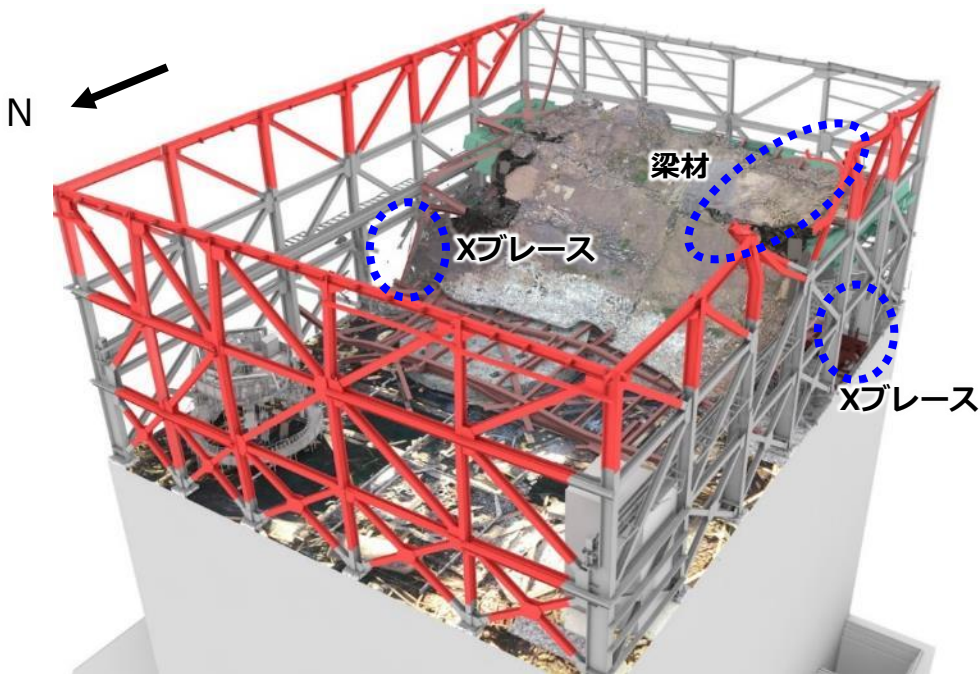
5. スケジュール

- 構外では可動屋根の鉄骨地組等を実施中。
- 構内では上部架構設置と外周鉄骨撤去を順次実施。

	2023年度	2024年度												2025年度	
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
実施計画		燃料取扱設備設置に関する実施計画													
大型カバー設置	本体鉄骨建方(下部架構, 上部架構, ボックスリング, 屋根)	■										■		大型カバー設置完了▼	
	はみ出しガレキ撤去作業(北面)	■												ガレキ撤去用天井クレーン設置	
	はみ出しガレキ撤去作業(南面)		■												■
	R/B外壁調査, 仮設構台設置, アンカー・ベースプレート設置等	■													
	SGTS配管撤去 (別工事)	■													
	Rw/Bガレキ撤去 (別工事)	■													
	作業ヤード整備, 構外ヤード地組, 運搬等	■												■	
大型カバー 換気設備他設置	換気設備ダクト他仮組【構外作業】	■													
	大型カバー換気設備他設置【構内作業】											■		■	
	オペフロダストモニタ改造【構内作業】											■		■	

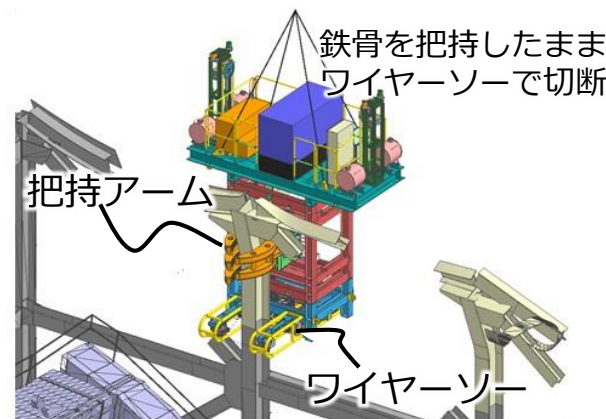
【参考】1号機原子炉建屋外周鉄骨の撤去について

- 大型カバー上部架構との接触リスク低減および耐震安全性向上を目的に，下図に示す外周鉄骨の撤去を実施する。
- 撤去作業は，把持機構を備えたワイヤーソーや吊り下げ式カッター等（以下，撤去装置）を用い原則遠隔操作で実施する。
- 遠隔操作による切断が困難になった場合は，高所作業車を用い，有人作業により切断の補助を行う。

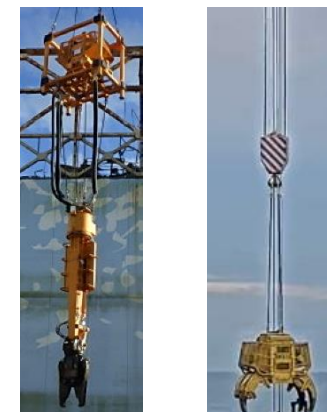


— 対象撤去範囲 () 過去の撤去実績
外周鉄骨の撤去範囲

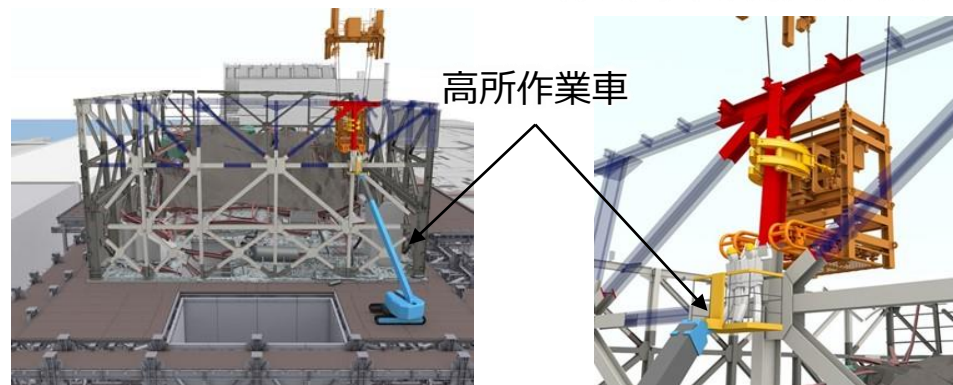
※作業計画により撤去範囲は変更となる場合がある



柱撤去イメージ

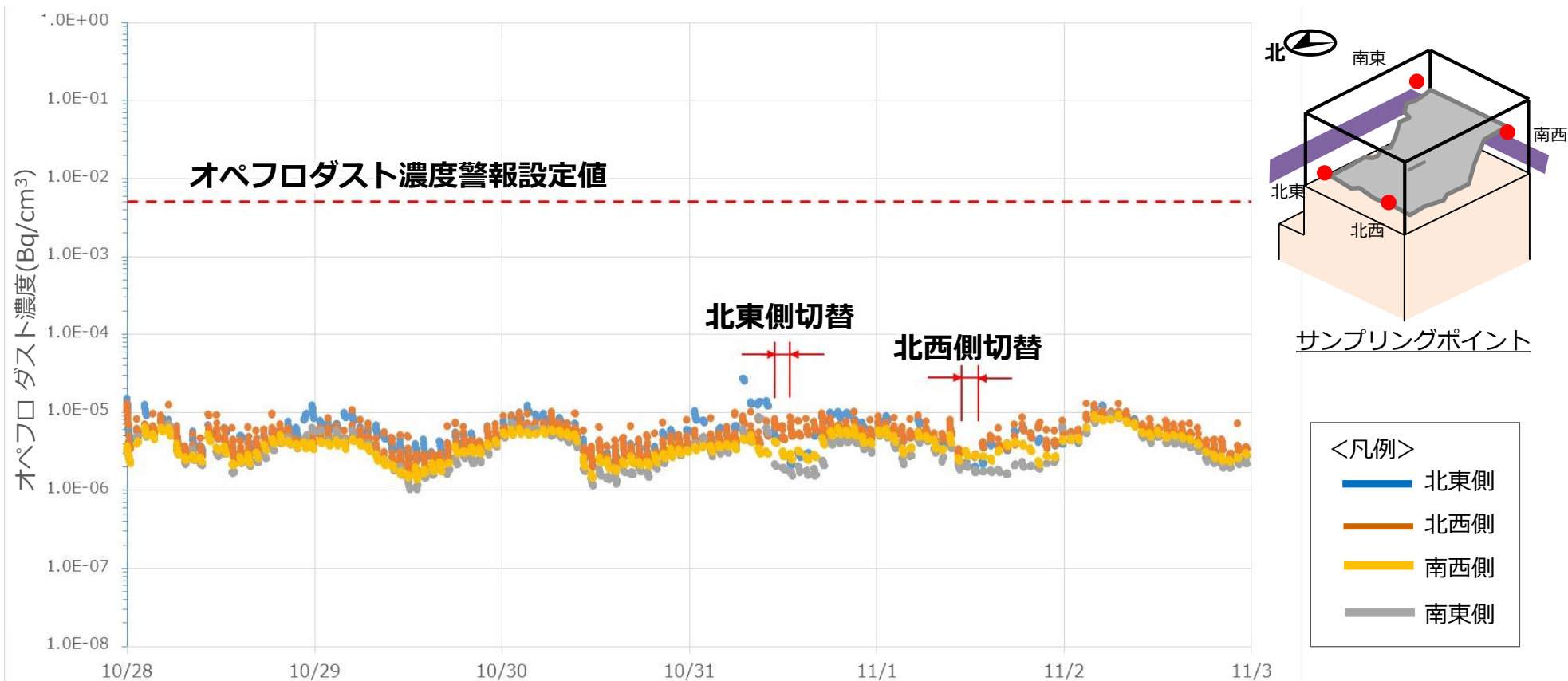


左：吊り下げ式カッター
右：吊り下げ式グラブフォーク



撤去のイメージ

- オペフロダストモニタで測定した「空气中的放射性物質濃度（2024年10月28日～2024年11月3日）」を以下に示す。
- ダストモニタの切替作業を実施したが切替前後で比較しても、ダスト濃度に有意な変化はなかった。
- 空气中的放射性物質濃度は、オペレーティングフロアダスト濃度警報設定値※1（ $5.0 \times 10^{-3} \text{Bq/cm}^3$ ）に対し低い値で推移した。



※1 敷地境界モニタリングポスト近傍のダストモニタ警報値より設定した公衆被ばくに影響を与えないように設定した値